

発電所だより 2022年1月号

2022年1月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <https://www.tohoku-epco.co.jp/>



女川原子力発電所長
若林 利明

《2022年も、地域の皆さまに信頼され、地域とともに歩む発電所を目指してまいります》

日ごろより女川原子力発電所の運営にご理解とご支援を賜り心から御礼申し上げます。

当発電所は、昨年12月、原子力規制委員会より2号機の新規制基準への適合性に係る工事計画の認可をいただきました。現在進めている安全対策工事を着実に進めるとともに、発電所のさらなる安全レベル向上に努めてまいります。

また、発電所の運営にあたりましては、地域の皆さまからの信頼が何よりも重要であると考えております。引き続き、「地域の信頼にお応えし、社会に貢献する」という強い使命感をもち、日々の業務に邁進してまいります。

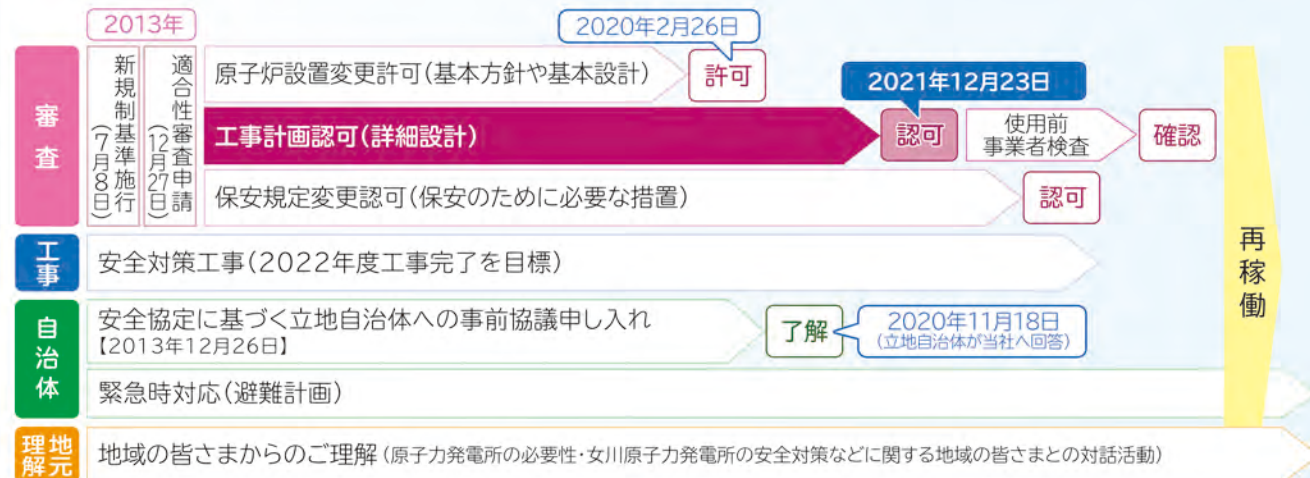
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

《女川原子力発電所2号機における審査状況について》

— 新規制基準への適合性に係る工事計画認可

2号機は、2013年12月27日、新規制基準適合性審査に必要となる「原子炉設置変更許可申請書」、「工事計画認可申請書」、「保安規定変更認可申請書」を原子力規制委員会へ提出し、このうち、原子炉設置に係る基本方針や基本設計に関する「原子炉設置変更許可」については、2020年2月26日にいただいています。

このたび、原子炉施設の詳細設計などに関する「工事計画認可」を2021年12月23日にいただきました。今後は、原子炉施設の運用に関する「保安規定変更認可申請」に関する審査が予定されています。



— 特定重大事故等対処施設の設置に係る原子炉設置変更許可申請

新規制基準では、工事計画認可(2021年12月23日)から5年以内に特定重大事故等対処施設*を設置することが求められています。そのため当社では、本施設の設置について2022年1月5日に宮城県ならびに女川町、石巻市へ「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書」に基づく事前協議の申し入れを行い、翌1月6日には、本施設に係る「原子炉設置変更許可申請書」を原子力規制委員会へ提出しました。

※特定重大事故等対処施設の概要

原子炉建屋への故意による大型航空機の衝突等のテロリズムなどにより、炉心に著しい損傷が発生するおそれがある場合などにおいて、放射性物質の放出を抑制するため、遠隔で原子炉圧力容器内の減圧や原子炉格納容器内の冷却などを行う施設。運用開始までに「原子炉設置変更許可申請」「工事計画認可申請」「保安規定変更認可申請」の許認可などが必要。



女川町への申し入れ(左、須田町長)



石巻市への申し入れ(左、渡邊総務部長)

「女川町の魅力再発見動画」を公開中 ～ONAGAWA enJOINUS～



特定非営利活動法人アスノキボウ※（女川町）では、女川町の魅力を広く発信するため、町内で活躍する人や話題のスポットを紹介する動画「ONAGAWA enJOINUS」を制作し、第1弾の動画を公開しています。今後、第2弾、第3弾も公開する予定ですので、ぜひ、ご視聴ください。

なお、動画の制作にあたっては、当発電所員の有志が撮影や編集作業などに協力しています。

※女川町の社会課題解決を通じて、日本・世界の社会課題解決に貢献することをミッションとする団体。



動画タイトルの「enJOINUS」は、en JOIN(縁をつなぐ)、ENJOY(楽しむ)、JOIN US(参加する)を合わせた造語。女川に関わる人たちが「つながる」ことで「無限の可能性」を生み出し未来へ向かって進んでいこうとの思いが込められています。

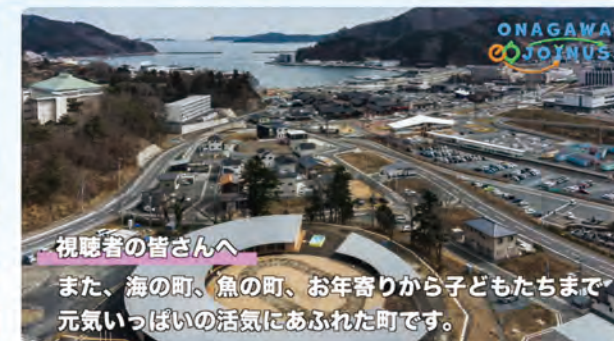
動画視聴はこちら



ONAGAWA enJOINUSの一部シーン



海の生き物などをモチーフにした公園「マッシュパーク」



上空から撮影した女川町

《現場偵察用ロボットの操作訓練を実施》

当発電所では、原子力災害が発生した場合に備え、「現場偵察用ロボット※」の操作訓練を実施しました。

原子力災害発生時には、災害の拡大を防止するため、速やかに発電所の状況を確認する必要がありますが、放射線量が高い過酷な環境となった場合には、このロボットによって設備の状況を調査します。

訓練では、発電所員がロボットを操作し、発電所建屋内を模擬した特設コースの走行や障害物の撤去を行うなど、ロボット操作技術の習熟を図りました。

※現場偵察用ロボットは美浜原子力緊急事態支援センター（福井県）が所有。



モニター映像を見ながらロボットを遠隔操作

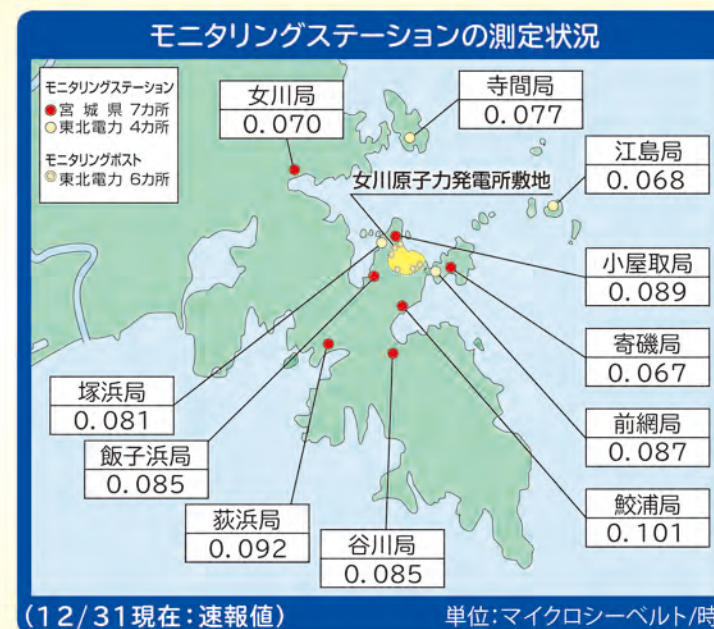


特設コースに設置された階段を昇降

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2021年12月31日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



項目	測定値
〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	2011年3月11日 0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	2011年3月13日 1.8～21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	2012年4月1日 0.063～0.098
	2013年4月1日 0.055～0.076
	2020年4月1日 0.034～0.055
	2021年4月1日 0.034～0.047
	2021年12月1日 0.034～0.053
	2021年12月31日 0.034～0.046

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。
 ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
 ※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。
 ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。



再生紙を利用しています